

6~7月は人権旬間 ~一人ひとりが輝く 笑顔あふれる学校~

6月は、人権旬間です。みんなが笑顔で楽しい学校生活を送ることができるように、友だちのよいところを見つけたり、言葉遣いや行動を振り返ったりすることで、よりよい行動につなげていっています。私は、毎日が人権教育だと考えています。とても優しく、周りの人の気持ちを考えながら行動することができる思いやりあふれる子どもたちばかりです。その子どもたちの成長を保護者の皆様や地域の方々に支えていただけていることに感謝する日々です。



①6月6日(木)の全校集会にて

先生方の写真を見せながら、その写真が伝えたいことを考えてもらいました。子どもの感性は素晴らしく、「私たちのことを考えて動いてくれている。」など、先生方の行動の意味を受け止めてくれました。一番そばにいる担任の先生はもちろんのこと、給食の先生や事務の先生、用務員の先生など多くの方々の関わりの中で学校生活を送っていることに気づいてほしいと思いをしました。

そして、今の豊かな感性で周りの友だちのよいところに改めて気づき、みんなが自分らしく笑顔で過ごしてほしいと思っています。



②6月25日(火)の人権教育体験学習(1・2年生)

NPO法人「生活と教育」様にご来校いただきました。世界地図を見ながら、どこの国の遊びなのかを意識していました。1・2年生合同でケニアやザンビアの外遊びを通して人種、民族、国の差別について考えました。みんなでしっかり話を聞き、元気いっぱい走り回りました。参加体験学習を三玉小学校として3つ申し込みをしています。次は、4年生が11月中旬に木工作業を通して職人技術を学び、12月には、音楽クラブがハンドベル演奏を通して役割分担と共同について学びます。



③にこにこ集会(5月30日、6月27日)

人権委員会が、縦割り班の活動を企画・運営してくれています。5月30日は、運動場でボール運びリレーをしました。6月の目標にあった「ふわふわ言葉」を使いながらの活動でした。ペアで協力しながらの活動で温かい雰囲気朝でした。6月27日は、体育館で「じゃんけん列車」を行いました。音楽にのって、じゃんけんして負けた人が勝った人の後ろにどんどんつながっていきます。最後には3つの列車ができあがり、大盛り上がりでした。笑顔いっぱい、元気いっぱいの楽しい朝でした。ステージの上でやってみせてくれる人も堂々としてよかったです。いろいろな場面が全て子どもたちの学びの場であり、成長の場であると感動しながら見えています。

6月16日(日)は、熊本県バスケットボール協会U12北部ブロック夏季大会でした。午後から出張でしたので、午前の試合を見に行きました。6年生の淵上由絢さん、村上絵恋さん、村上華恋さんの3名が大活躍で、なんと、準優勝でした。学校で見る姿と違う面もあり、上手なシュートやボールさばきに興奮して観戦しました。おめでとう!子どもたちのそれぞれの場所での活躍、楽しみです。

子どもたちの活躍をぜひ、担任の先生を通じてでもお知らせいただけますと嬉しいです。



校長の
ひとりごと

昨日の出来事・・・校長室でデスクワークをしていると、なんとなく視線を感じました。えっ?と思いつつ、音がしなかったので視線を落としました。しかし、また、なんとなく視線を感じました。すると! 1年生の2人がまるで忍者のように忍び足で廊下を歩いてました。思わずいつものように声をかけました。すると、子どもたちが「先生がお仕事されているので、シーです。音がしないようにしてました。」と言ってくれたのです。また、感動の瞬間でした。こんな心づかいができる三玉小の子どもたちなんです。いつも校長室を開けています。先生方や子どもたちがお話をしにきてくれます。子どもたちに学ばされた瞬間でした。